

歯科用蒸気洗浄機

DENTAL
STEAMER

LOCOMO

ロコモ

取扱説明書

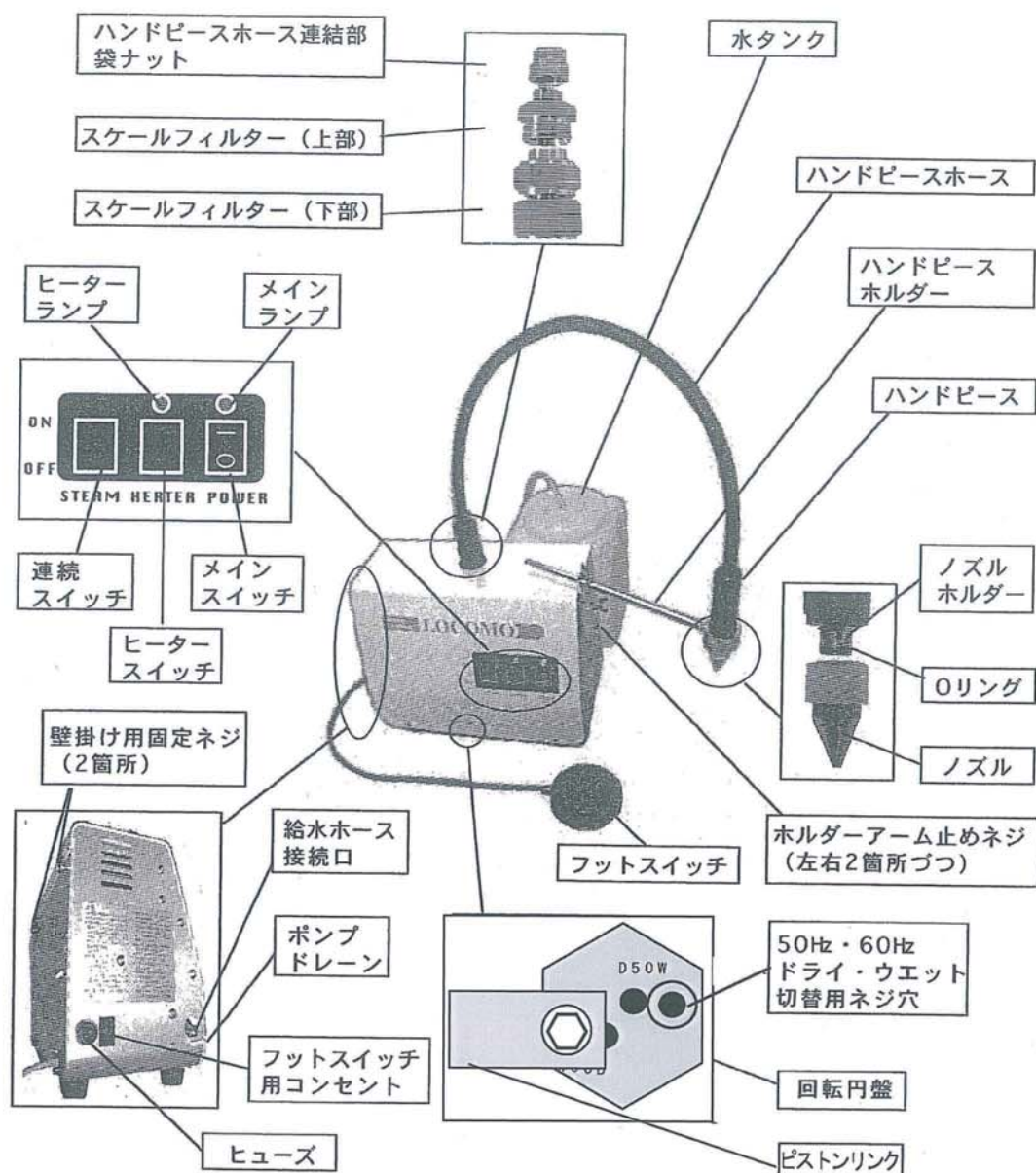
※ご使用前に必ずお読み下さい

デントルスチーマー 『ロコモ』

目 次

- 1. 各部名称・・・・・・・・・・2 ページ
- 2. 仕 様・・・・・・・・・・2 ページ
- 3. 付 属 品・・・・・・・・・・2 ページ
- 4. 設置方法・・・・・・・・・・3 ページ
- 5. 使用準備・・・・・・・・・・3 ページ
- 6. 使用方法・・・・・・・・・・3 ページ
- 7. スチームの切替え・・・・・・・・4 ページ
- 8. そ の 他・・・・・・・・・・4 ページ
- 9. お 願 い・・・・・・・・・・4 ページ
- 10. イオン交換器の取扱・・・・5 ページ
- 11. 本体内部洗浄・・・・・・・・7 ページ

1. 各部名称

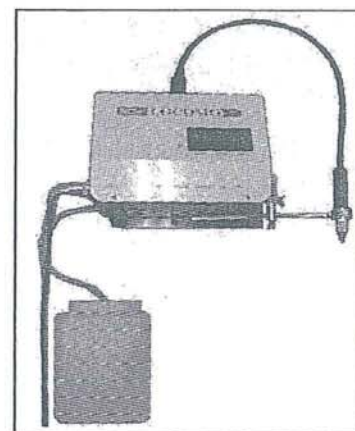


2. 仕様

本体寸法	::	W295×D160×H245(本体外形のみ)
電 源	::	AC100V 1450W
重 量	::	9kg
蒸気発生	::	貫流式特殊小型ボイラー
最高圧力	::	0.9MPa
消費水量	::	100ml/min
水タンク	::	容積4ℓ
蒸気切替	::	ウエット・ドライ切替
安全装置	::	異常加熱、空焚防止装置 温度ヒューズ

3. 付属品

ハンドピース付ホース一式75cm
 スケールフィルター
 水タンク・給水ホース
 イオン交換器
 フットスイッチ
 ハンドピースホルダーアーム
 アーム固定ネジ×2
 注水用注射器
 レンチ(スケールフィルター分解用)



壁掛け設置例
 (別売りの壁掛け用ハンガーが必要)

4. 設置方法

1. AC100V-15A(50Hz/60Hz) が使える専用コンセントを準備して下さい。
2. 感電防止事故の為、アース（第3種設置工事）は、必ず取り付けて下さい。
3. 卓上で使用する場合、流し台かその近辺のできるだけ水平な台を選び設置して下さい。
4. 別売りの壁掛けハンガーを用いて壁掛けで使用する場合、固定する壁は、重量10kg以上に耐える事。特にボード板等の場合は壁裏の棧に固定し、コンクリートの場合は、壁掛けハンガーに付属のカールを利用して下さい。
5. ハンドピースホルダーを左右いずれか側に（本体側面）止めネジで固定して下さい。
6. ハンドピースを本体天面接続口（スケールフィルター付）に取り付けて下さい。
7. フットスイッチは本体左側面のコンセントに接続して下さい。
8. 給水ホースの一端を本体左側面の給水ホース接続口に取り付けて下さい。
9. イオン交換器（水中の不純物をろ過する）を取り出し、よく水洗いして下さい。（5ページ参照）

5. 使用準備

1. 水タンクに4ℓの水道水を満たして、イオン交換器を完全に水没させて下さい。交換器の気泡が抜けたら給水ホースを接続して下さい。（5ページ参照）
2. メインスイッチを入れ、フットスイッチ又は、連続（スチーム）スイッチをONにしポンプを作動させノズルから水が出るのを待ちます。これはポイラータンク内（本体内部）を水で充満させ、空炊きを防止する為です。ノズルから水が出てこない場合は、付属の水注入器（注射器）に水を入れ、給水ホースの接続口に直接差し込んで強制的に水を注入して下さい。
3. 上記作業は新規購入時及び水切り後（水の補充時）に行う操作です。セットアップ後、上記①、②の操作は不要です。

6. 使用方法

1. メインスイッチをON（メインランプ緑色点灯）にして下さい。
2. ヒータースイッチをON（ヒーターランプオレンジ色点灯）にして下さい。
→ 3～5分でヒーターランプが消灯し、使用可能となります。
ヒーターランプはヒーターが加熱中であることを示し、使用可能か否かをお知らせするものではありません。
3. フットスイッチは、踏んでいる間だけスチームが噴出します。
連続スイッチは、ONにするとスチームが連続的に噴出します。
4. 洗浄物はノズルから2～5cm離し、スチームに対して直角に当ててください。
高圧スチームの微細な粒子によって洗浄物は瞬間的に洗浄されます。
5. スチームは長時間の連続噴射をさけ、短時間の間欠噴射で使用する方が効率よく使用できます。
6. 一日の作業終了後は必ずメインスイッチを切って下さい。

「注意」 ●使用中、本体及びハンドピースホース接続部、ハンドピースホース、ノズルは高温になりますのでご注意ください。

- 凍結の恐れがある日はメインスイッチを切る前に次の操作をして下さい。
- ・ヒータースイッチを切り、水タンクから給水ホースを抜く。
 - ・フットスイッチを踏み、本体内部に残留する水を噴出しスイッチを切る。
 - ・後日使用前に、必ず使用準備操作を行って下さい。

7. スチームの切替え

1. 本体底部に切り替える箇所があります。
2. 中の回転円盤に50Hz・60Hz、及びW（ウェットスチーム）・D（ドライスチーム）の表示を確認し、回転円盤に固定されたアームを希望位置に固定しなおして下さい。

注意 1. 本製品の出荷時は、ウェットスチームが噴出する様に設定しています。
（各周波数50Hz・60Hz共にウェット状態）

2. ご希望により、上記操作でW・Dを切り替えて下さい。

（ウェットスチーム）：スチームに含まれる水分が多く、白いスチームを発生します。
主に、模型に付着したワックスの洗浄・補綴物のルージュ落としに利用します。

（ドライスチーム）：スチームに含まれる水分が少なく、青白いスチームを発生します。
主に、ポーセレン等の洗浄に利用します。

8. その他

〔故障点検〕 万一故障が発生した場合は、販売店又は当社までご連絡下さい。
修理調整は全て大榮に依頼し、使用者側では行わないで下さい。

〔発送注意〕 発送される時は、本体（熱交換器）の温度を常温まで下げて下さい。
水タンクの水及びヒーター内の水を、完全に抜き取って下さい。

〔保証〕 当社に起因する故障の場合は、保証規定に基づき1年間は無償で修理致します。
但し、次の場合は除かせて頂きます。
・保証書の日付、提示がない場合。
・本機を使用者側で勝手に改造された場合。
・使用者側で勝手に修理調整された場合。
・使用者の誤った取扱によるトラブル。
・消耗品（ノズル、ピストン弁、パッキン）等の保証について。

9. お願い

本製品（テントルスチーマー『ロコモ』）は、歯科用スチームクリーナーとして開発された商品で、他の目的でご使用になる事を禁止します。

本製品は、一般水道水をご利用頂けるよう設計しておりますが、故障の原因となる水中の不純物の含有率には地域差があり、含有率が高いと付属のイオン交換器によるろ過だけでは不十分な場合がありますので、別売り品のクリーナー液（洗浄液）（ヒーター内部に残留した不純物を溶解する）を併用する事をお勧めします。
（7ページ参照）

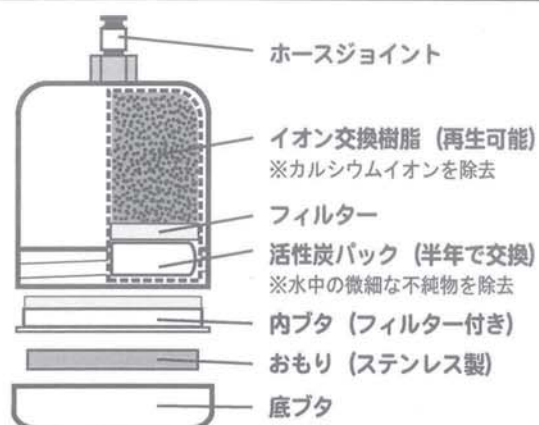
その他ご使用上、不明な点・質問等がありましたら、下記までご連絡下さい。

大榮歯科産業株式会社 本社 ☎（06）6441-3332

10. イオン交換器の取扱

『イオン交換器』

『イオン交換器』は、水道水中の不純物を取り除き、『ロコモ』を長期間、快適にお使い頂くための器具です。以下の説明及び、裏面の再生手順をご覧のうえ、正しくお使いください。



『イオン交換樹脂』について

水中に溶けているカルシウム等はスチームクリーナーのボイラー内部で水が蒸発する際に残留して、ボイラーや銅管の内壁に付着し、目詰まりを起こします。これがスチームクリーナーが故障する最大の原因です。

『イオン交換器』は水中にイオンの状態で存在しているカルシウムを交換器内の『イオン交換樹脂』と反応・付着させる事によってろ化し、故障の原因を未然に取り除きます。

この場合、カルシウムイオンと樹脂が反応する飽和量を超えるとそれ以上はろ化出来なくなりますが、ロコモで採用している『イオン交換樹脂』は、食塩水に浸すことで食塩水中にカルシウムを放出し、再び使用する事が出来るものです。

使用準備

1. 『イオン交換器』の底ブタを開け、円盤状のおもりを取り出し、流水で1分以上ゆすいで下さい。
2. おもりを戻して、底ブタをゆっくり、確実にしめて、水を入れた給水用ポリ容器の中に沈めます。ホースジョイントの口から気泡が出てこなくなるまで待ちます。
3. 給水用の透明ホースをホースジョイントに差し込み、接続します。



使用期限

活性炭フィルターは、半年に1度交換して下さい。また、『イオン交換器』自体も、『イオン交換樹脂』の再生回数にかかわらず、使用開始後2年で、新しい物と交換して下さい。

その他

『イオン交換器』で100%不純物をろ化できる訳ではありませんので、数ヶ月に一度、別売りのロコモ『洗浄液』を使用し、内部の洗浄をして下さい。

ロコモ『イオン交換樹脂』再生手順

最低1か月に一度は再生処理をして下さい。

1. ロコモ給水用ポリ容器に水を 2/3 ほど入れ、食塩200 gを加え、
溶けきるまで混合します。

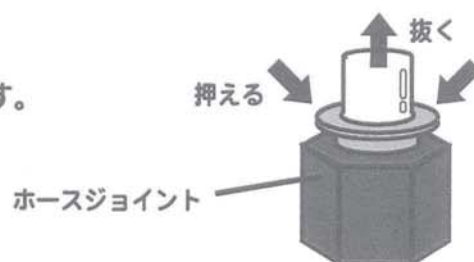


2. イオン交換器の底ボタン、おもり、内ボタン、活性炭パックを全て
取り外し、食塩水の中に5分間浸しておきます。
(完全に水中に没するようにしてください)
イオン交換器のジョイントに付いている給水ホースは抜いてお
きます。



※給水ホースの抜き方

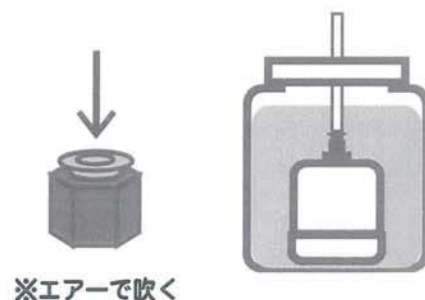
ホースジョイントの接続口の突起を指で押さえながら引き抜きます。



3. イオン交換器を取り出し、1分以上流水でゆすいで下さい。交
換器の中に食塩水が残らないよう十分洗って下さい。
その後取り外した部品を戻し、底ボタンをしっかりと閉めて下さい。



4. 給水用ポリ容器の食塩水を捨て、塩分が残らない様によく洗い、
再び水を入れてからイオン交換器を沈め、気泡を抜いてから透
明ホースをつなぎ、(裏面参照) 使用を再開します。



- ※ ホースジョイントの口に水が詰まっていると気泡が抜けにくい
のでエアガンで吹いておいて下さい。

1 1. 本体内部洗浄

別売のクリーナー液（洗浄液）を使用してヒーター内の異物を溶解する作業

- ① 必ず本体が冷めている状態で、洗浄を行います。
ハンドピースの先端に付いているノズルを外し、スケールフィルター内の網を外して下さい。（図1）（図2）
イオン交換器から給水ホースを外して下さい。

- ② 付属の洗浄液（500ccガラス容器）にノズルを外したハンドピースと、給水ホースを一緒に容器の中に入れます。
洗浄液は、過酸化水素の希釈液です。取扱には十分注意して下さい。
万一手や皮膚等に付着した時は、直ちに水洗いして下さい。
（その他の注意は容器に記入）

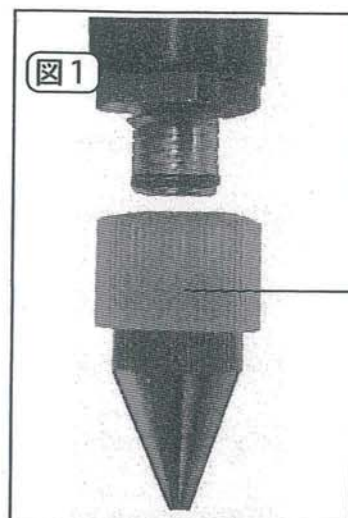
（図3）

- ③ メインスイッチをONにします。
（ヒーターランプ緑色点灯）
ヒータースイッチは絶対にいれないで下さい。

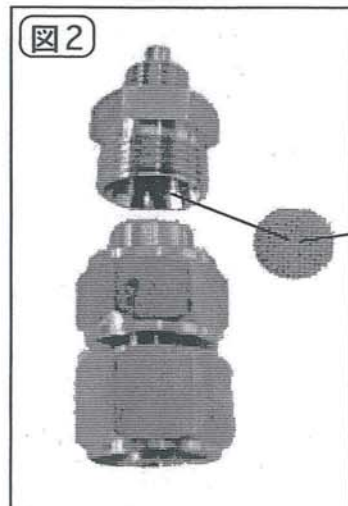
（図4）

- ④ フットスイッチ又は、連続スイッチをONにし、5分間位続けて洗浄液を循環させて下さい。
ヒータースイッチは絶対にいれないで下さい。

（図5）



ノズル内側にも網があるので無くさないよう注意して下さい



網



イオン交換器を外した
給水ホース

ハンドピース

洗浄液

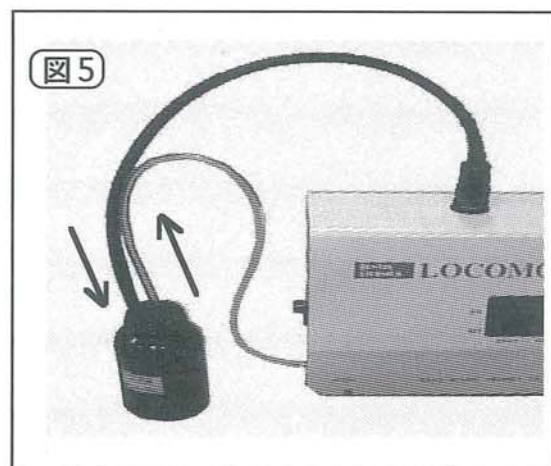
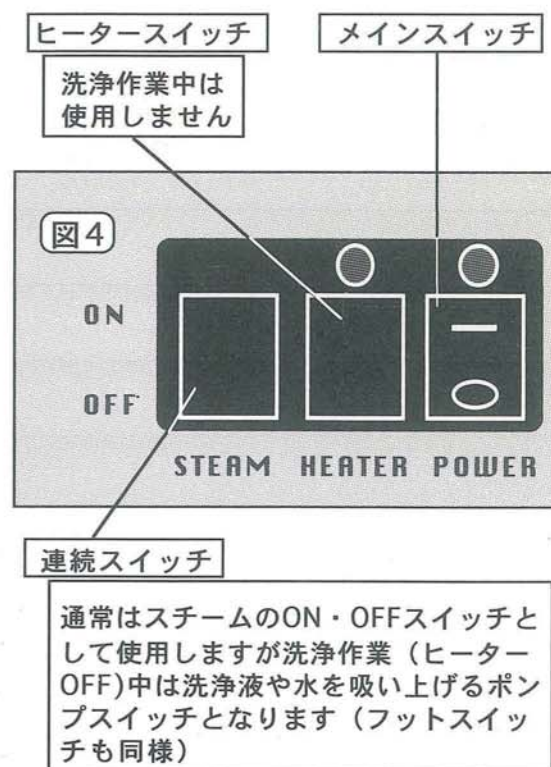
- ⑤ 5分間循環させた後、フットスイッチ連続スイッチ及びメインスイッチ全てをOFFにし、容器の中に入れていたハンドピースと給水ホースを取り出しそのまま一晩放置して下さい。一晩以上放置させると、本体内部のパッキン類（シール・Oリング等）を劣化させる事があります。

- ⑥ 一晩放置した後、メインスイッチONフットスイッチ又は、連続スイッチをONにし、洗浄液を再度5分間位循環させて下さい。（操作手順④と同じ）ヒータースイッチは絶対にいれないで下さい。

- ⑦ ノズルを外したハンドピースを流し台（シンク）へ向け、給水ホースは水を入れた給水タンクへ戻し、イオン交換器に接続して下さい。

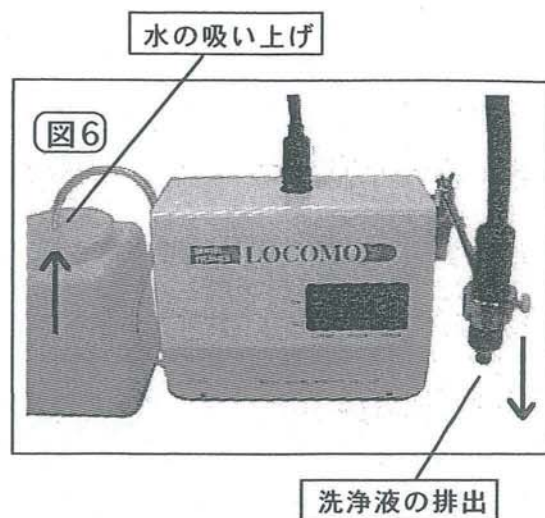
- ⑧ フットスイッチ又は、連続スイッチをONにして下さい。
（5分間位水を給水させ、本体の内部に残留している洗浄液・不純物を洗い流します。）

図6



- ⑨ フットスイッチ又は、連続スイッチをOFFにします。

- ⑩ ハンドピースの先にはノズルを、スケールフィルター（内部）には金網を、それぞれ取り付けて下さい。
これで洗浄作業が終了しました。



注 意

- ・ 洗浄を行う時は、必ず本体が冷めている事を確認して下さい。
- ・ ハンドピースのノズル及び、スケールフィルター内の網を必ず外して下さい。（目詰まりの原因になります）
- ・ 洗浄作業中、ヒータースイッチを絶対に入れないで下さい。
- ・ 操作手順⑤の際、24時間以上は放置しないで下さい。

ハンドピースホースの分解清掃について

ヒーター部で発生したスケール（ミネラル分の固まった物）の層から剥離したカケラは、微細なものは蒸気と一緒に放出（洗浄効果には無関係）されますが、大きなものはノズル内の先端やスケールフィルター内の網に溜まっていきますので、定期的な分解清掃を行い、スケールのカケラを取り除いて下さい。
特に、洗浄液を使った後はカケラが発生しやすくなりますので、洗浄終了後の1～2日は十分に分解清掃を行って下さい。

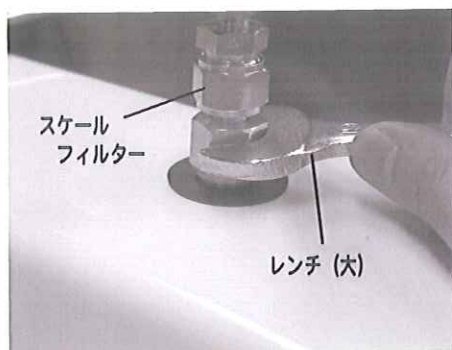
※ノズル等は、Oリング（パッキン）で密閉（適当な締めつけで、十分密閉される）されているので、あまり固くしめないで下さい。
後々分解しづらくなり、Oリング破損（切れ・割れ状態）の原因になります。
蒸気が漏れる場合、締めつけ不十分か、或いはOリングの破損が考えられます。
点検の後、必要に応じてOリングを交換して下さい。



大 榮 齒 科 産 業 株 式 会 社

本 社 〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目10-17 TEL.06-6441-3332 FAX.06-6445-1276
東 京 営 業 所 〒111-0042 東京都台東区寿1-5-10 1510ビル8F TEL.03-5828-0024 FAX.03-5828-0026
名 古 屋 営 業 所 〒464-0851 名古屋市千種区今池南29-24 TEL.052-731-0610 FAX.052-731-0626
福 岡 営 業 所 〒812-0895 福岡市博多区竹下2丁目4-3 TEL.092-473-7567 FAX.092-473-4897

HPホースの取り付けについて



- 付属のレンチ（大）を使ってHPホースの付け根（スケールフィルター部）をロコモ本体上部のネジ穴にしっかりと固定します。
- ロコモ運転中に、この部分から蒸気が漏れてくる場合はネジの締付けが足りません。再度調整して下さい。



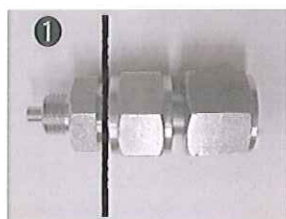
- ・HPホースをロコモ本体に接続した状態で、ノズルやスケールフィルター部に顔を近づけないで下さい。
- ・HPホースに蒸気を通すと、ノズルやスケールフィルター等の金属部分は高温になりますので直接手を触れないよう十分注意して下さい。

HPホースの分解・清掃について

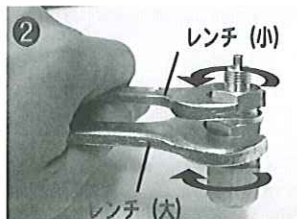
- HPホース部にはノズルの先端とホース付け根のスケールフィルター部に異物（主にスケールと呼ばれる、水中に溶けているミネラルが固まった物）ろ過用の網が入っています。ロコモ使用中に蒸気の勢いが弱くなってきたら、まず2ヶ所の網に異物が溜まっていないか確認して下さい。



○スケールフィルターの分解方法



スケールフィルターは上記の部分で分割されるので、付属のレンチ2本を各々差し込みます。



2本のレンチを片手でしっかり持ち、ネジの回転方向に気を付けた上で強く握り込んでネジを緩めます。



網はスケールフィルターの上部側に付いています。

- ロコモには水中の不純物をろ過する『イオン交換器』が標準装備されていますが、上記のような症状が頻繁に起こる場合は、更なる処置として、別売の『クリーナー液』を用いて、本体内部の洗浄をして頂くよう、お願い致します。



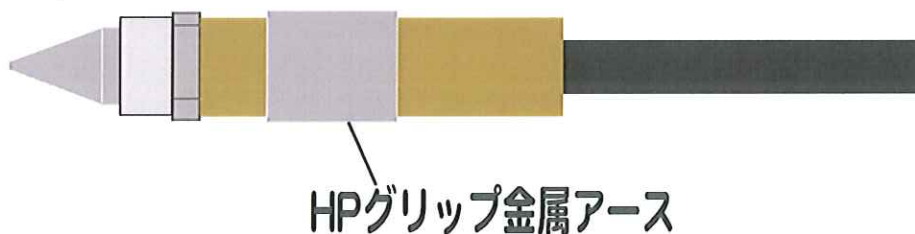
- ・『クリーナー液』は強力な洗浄液ですので、説明書11ページと、洗浄液の箱に記載されている使用方法をよくお読み頂き、取り扱いには十分注意して下さい。
- ・耐熱ジュンロンホース（透明）が破損する等して交換する場合は、金属スリーブ（※）も一緒に取り換えて下さい。その際、スリーブのジュンロンホースへの挿入が浅かったり、袋ナットの締付けが弱かったりすると、使用中にホースが外れる恐れがありますので、十分注意して下さい。

静電気対策について

- ロコモのHPグリップを握って作業をしていると、静電気を感じる事があります。冬場など空気が乾燥している時期はその傾向が顕著です。これを防止する手段として、体に溜まる静電気をアースを通して逃がしてやる必要があります。ロコモのハンドピースグリップの金属部分「HPグリップ金属アース」はロコモ本体のアースにつながっており、体内の静電気を常に逃がし続ける効果があります。ハンドピースを持つ際はこの金属部分が手に触れるように握って下さい。



本体のアースは必ず**取って下さい**。
アースを取らないと静電気を逃がす効果はありません。



ロコモ「吸水ホースフィルター」の取り付け方向

